

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【様式集】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

◆実施日 令和6年1月5日

◆評価確定日 令和6年3月15日

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 5 日 (13:30 ~ 14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 松澤、虻川、岩澤、佐藤、武田、長崎、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1	11			12

前回の改善計画	利用開始前から利用に至るまでの情報共有は行えているが、環境の変化で不安を抱いている利用者のニーズにどこまで対応できているか再確認する環境と双方向の関係性構築に時間をかけて対応していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用前の情報共有をはじめ、利用後の本人の本人の状況や家族の状況について、日々のミーティング時に職員間で情報共有を図り、不安を感じさせないよう環境面、利用者間、職員間の関係構築に取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	9	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	1		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	3	8		1	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	5	5		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のミーティング時に新規の利用者の情報、変化のある利用者の情報を共有している。 ・実際に利用者へ接しながら、どんな支援が必要なのか、どんな声掛けをしたら安心できるのか等を考えながら接している。また、必要な援助についてご家族に協力を求めたい部分などはご家族にも相談し情報共有できるように努めている。 ・送迎中の会話の中で情報を得たり、家族の思いを傾聴している。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・変則勤務であるがゆえの情報伝達漏れもあり、ミーティングに参加できなかった職員が支援方法や状況が変わった場合の変化に対応できない時もあり、細かい部分の全職員への情報伝達方法や周知徹底方法に課題がある。 ・ご家族と頻りに会うことができない場合、ご家族の不安を確認することができないなどの課題もある。 ・自分の心の余裕がない時は関わりの中で利用者の小さな変化に気付けない時がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前から利用に至るまでの情報共有については今後も必要な情報を適切に職員間で共有できるように取り組んでいく。利用後の利用者本人には職員との関わりをなかでの気付きを増やしなが、安心して過ごせるような環境を作り、家族との関係性構築にも時間を掛け、丁寧に説明と納得を繰り返しながら気軽に相談できるような事業所を目指す。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 5 日 (13 : 30 ~ 14 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 松澤、虻川、岩澤、佐藤、武田、長崎、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8	4		12

前回の改善計画	・アセスメントを基に具体的な目標設定を行う。ケアプランの内容を全職員が認識し「～したい」に結びつく支援ができるよう、利用者の細やかな思いや言動を記録し情報共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の細やかな思いや言動に気付くことはでき、職員間で情報共有することはできたが、ケアプランの内容について、職員間で周知把握の徹底に認識不足があった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		7	5		12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	3		12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	6		12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	4		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用前に情報を整理し、ケアプランに取り入れることで実現できるように取り組んでいる。 ・実践結果や以前とは異なる言動が見られたらミーティング時に報告し職員間で情報共有し、今後の対応に活かせるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者がどうしたいのかを考える視点が欠けていると感じることがある。 ・実施した内容について振り返るが、次につなげることができないことがある。 ・事業所の特徴を理解したうえでの本人や家族の思いの汲み取りがやや不足している事もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人の目標やケアプランの目標を本人の状態、家族の意向と照らし合わせながら適切な支援できるよう、情報収集しその情報を整理しながら支援できる体制が正しく機能するよう取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 5 日 (13 : 30 ~ 14 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 松澤、虻川、岩澤、佐藤、武田、長崎、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9	3		12

前回の改善計画
・ミーティング時の開催時間や内容を精査し、密のある話し合いの場を作る。情報共有という名の雑談の場とならないよう必要な事柄を要点をまとめ共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ミーティング時の情報共有だけでなく、日々のケース記録も関わらない職員でも把握しやすいように記録するようにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	10	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	8	1		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	8	2		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	6			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	6	4		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員同士で意見を出し合い、意見交換できているため、新たに気づくこともあり、それが日々の支援につながっていると思う。 ・その時の行動から思いを代弁できるよう。利用者の言動や一緒に過ごすなかで観察したことを職員間で情報共有できるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の声にならない声を十分に言語化できない。 ・状態を把握し必要なケアは行っているが、「以前の暮らし方」を十分把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・日々の利用者との関わりのなかでの気づきを簡潔明瞭に記録することを職員間で周知を図り、職員が利用者一人一人の個性や特徴を把握できるように取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 5 日 (13 : 30 ~ 14 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松澤、虻川、岩澤、佐藤、武田、長崎、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	4	4	1	12

前回の改善計画	<p>・利用者を取り巻く環境の把握に努め、地域包括支援センター、民生委員の方と情報共有を密に行って行く。健在化した課題に対応できるサービスや自立支援事業等の公的サービスを活用し本人と地域との関係性が継続できるよう必要に応じて繋げていく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>事業所内の支援だけでなく、地域包括支援センターや民生委員との情報共有、公的サービス、事業所外の介護サービスの活用に取り組み、かかりつけの医療機関とも連携が図れた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		2	9	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	9	2		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	8	2	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		2	8	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・日々の関りのなかでの会話から人間関係などを把握するようにしている。 ・泊りの利用が長い方には家族との関りを絶たないよう状態報告したり、来所時の面会を勧めるなどしている。 ・必要時は民生委員に協力を得たり、家族と連携しかかりつけ医や行きつけの床屋などの把握はできている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・民生委員を通じて高齢の夫婦の生活についてやり取りすることはあったが、現在の登録者で必要と思われる資源については情報収集できていない。 ・利用者本人との関りはできているが、家族との関り、地域の人との積極的なかわりは希薄だった感じがする。 ・事業所利用時の本人の生活は把握できるが、利用していない時の生活の把握は難しかった。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>引き続き利用者を取り巻く環境やこれまでの生活歴の把握を心掛け、可能な限り地域での生活を継続できるよう社会資源の把握をし、職員間で共有できるようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 8 日 (13 : 30 ~ 14 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松澤、伊藤、貝森、高橋、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		5	6	1	12

前回の改善計画
・行政が行っている公的サービスや事業所以外で活用できるサービスの理解を深める。

前回の改善計画に対する取組み結果
事業所のサービスだけでなく、法人内のサービス利用、法人外のサービス利用を組み合わせながら、意向に沿ったサービスの活用はできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	6	5		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	9	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	10			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	9	1		12

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・その日その時の本人の状態や家族の状況に合わせて柔軟に通い、泊り、訪問に変更し対応できている。
・法人内の配食サービスの活用による見守りサービス、栄養管理ができている。
・ミーティングや記録で個々の状態を把握し、それに対しての対応についても意見を出し合いながら支援することができている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・社会資源の情報収集ができない。
・長期化する感染症対策により、気軽に外出や面会ができず、社会資源の活用ができない面もある。
・本人の状態にあった適切な公的サービスや社会資源の活用につなげる支援は家族の協力や理解も不可欠である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
利用者や家族の意向も確認しながら、引き続き適切なサービスの利用、感染予防対策を取りながら活用できる社会資源の活用を模索していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 8 日 (13 : 30 ~ 14 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 松澤、伊藤、貝森、高橋、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?			2	10	12

前回の改善計画	・情勢を鑑みながら地域の行事に参加していく。町内会との交流やボランティア活動に参加し有事の際の連携が図れるよう取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	感染症対策により、積極的に地域との交流や行事参加はできなかったが、事業所でできる範囲で地域との連携、協働は図れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？			4	8	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1		11	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？				12	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？				12	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議の集合開催は行えた。 ・情報提供書により、医療機関や訪問看護との連携をとることができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・社会的にはコロナ過以前の暮らしに戻りつつあるが、医療分野や介護の現場は依然感染症対策が必須となっており、社会参加や外部の方を招いてのイベント、地域活動への参加はできていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
感染症予防対策をしながら、地域の中で必要とされる事業所として情報発信できるよう、地域行事への参加、ボランティア活動に参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 8 日 (13 : 30 ~ 14 : 00)

7. 運営

メンバー 松澤、伊藤、貝森、高橋、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		2	6	4	12

前回の改善計画	・運営推進会議での書面による返答や利用者、家族様からの要望等を職員に周知し、職員全員が地域の困り事に気づき一緒に考え、地域に開かれた施設運営ができるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新型コロナウイルス感染症が 5 類へ移行し、運営推進会議の集合開催は実現でき、委員からの声を施設運営に反映することはできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?		4	5	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	4	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1	5	5	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	4	6	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の集合開催をきっかけに事業所外部の方からの率直な意見を聞けるようになった。 ・利用者、家族、介護者からの意見苦情は反映できていると思う。 ・「ご意見箱」の設置により、運営に反映できる体制はできている。 ・スノーレンジャーや年末のボランティア活動等の取組みをしている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・意見は把握できても職員一人一人が周知できるような取組みはできなかった。 ・普段の業務で運営推進会議に参加することがないため、内容や意見を把握できない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人、家族からの意見、地域の方の意見を職員に適切に周知できるような仕組みを再考し職員間の情報共有に取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 8 日 (13 : 30 ~ 14 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松澤、伊藤、貝森、高橋、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		2	8	2	12

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">施設外研修の参加危険予知の認識を高め未然に事故が防げるよう気づきのトレーニングを強化する。
前回の改善計画に対する取組み結果	施設内での内部研修は適宜実施できた。 事故予防のための危険予測トレーニングに関しては気づきの強化に十分に取り組むことができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1	7	3	1	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	5	5	12
③	地域連絡会に参加していますか				12	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		9	3		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">職場内の研修には参加するようにしている。事故を未然に防ぐための取り組みを行い、事故発生時もカンファレンスを開催し、対応策について検討している。就業時間外でもメディア等を通じ、個人的に情報収集は行っている。個々の状態を理解し、行動を観察し、危険予測しながらケアしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">日々の業務をこなすことで精一杯でスキルアップのための研修などに参加できていない。事業所内研修には参加しているが、スキルアップにつながるような研修には参加できていない。地域連絡会については開催情報が得られないため、参加する機会がなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
施設外の情報を取り入れることができるよう職員が気軽に参加できるような動画視聴研修の開催も検討していく。危険予測の認識を深めるため、気づきのトレーニング方法の在り方も検討していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 6 年 1 月 8 日 (13 : 30 ~ 14 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松澤、伊藤、貝森、高橋、米沢、佐藤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	8	2		12

前回の改善計画	<p>・前回の計画を継続し、利用者のプライバシーや尊厳が守られるよう努めると共に、我々の立ち振る舞いを常に振り返る機会を設ける。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>適切でない職員の言動や立ち振る舞いについて、ミーティング時に振り返る機会は設け、内部研修も実施した。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	3	8	1		12
②	虐待は行われていない	9	3			12
③	プライバシーが守られている	2	8	2		12
④	必要な方に成年後見制度を活用している		4	1	7	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	10			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修で虐待に関する事、身体拘束に関する研修でスピーチロックなどを学び理解を深めている。 ・個人情報については、本人、家族の同意を得て、広報やホームページ等に写真を掲載している。 ・研修を通し理解はしているが、これが正解という確証が得られない面もあると思う。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに対応できない時に「ちょっと待って」等言ってしまうことがある。 ・認知症の症状により、帰宅要求が強い利用者への対応時や職員間での申し送り事項がある時にプライバシーの配慮に欠けることもあった。 ・成年後見制度については利用する対象者がいない。 ・排泄やその他の本人の状態に関して直ぐに申し送りしたい時に持ち場を離れられず、大きめの声で離れた場所にいる職員へ伝えなければならないという状況になることがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>引き続き、定期的に職員の立ち振る舞いを振り返る機会を定期的に設け、利用者の人権やプライバシーに配慮できる取り組みを繰り返し継続していく。</p>	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 比内ふくし会	代表者	理事長 佐藤 剛	法人・ 事業所 の特徴	社会福祉法人比内ふくし会は、特養・ショートステイ・デイサービス・グループホーム・地域包括支援センター・居宅介護支援事業所等、幅広く事業を展開しており、心のこもった介護や看護、機能訓練、配食サービス等の支援を提供するとともに、共に助け合い、励まし合っていく人間関係を大切にしながら、利用される方々のことを常に中心に考える事業の運営に心掛けています。 みずきの家では、住み慣れた地域で生活し続けられるよう登録者やご家族の思いに沿ったサービスの提供に努めています。
事業所名	みずきの家	管理者	佐藤 真理子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	8人

※出席者について、新型コロナウイルス感染予防の観点から、対面会議は中止し文書での意見交換・評価となっている。

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対する基本対処方針が緩和されつつあるが、高齢者施設としての対策を継続しつつQOL向上に向けての活動を増やしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策を行いながらの活動ではあったが、事業所内で実現可能な行事や職員研修、委員会活動を展開しサービスの質の向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 前回の改善計画に対し、具体的に取り組んでおり、改善点、不足している点を客観的に把握できるように読み取れた。 自己評価に基づき、それぞれ具体的な改善計画が作成されているので、達成に向け事業所全体でしっかり取り組んでほしい。 ミーティングに参加できない職員が情報共有できないのではなく、変則勤務だからこその情報共有の方法があるのではないかな。 確認ミスに対し気が付いてその都度対応する事ができている。 アセスメントを基に額的な目標設定を行う事ができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設としても基本的な感染症対策は継続しながら、『住み慣れた地域での生活を継続できるように』という思いを尊重した支援を行っていく。

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第2の我が家をテーマとした、安心できる空間、居心地のいい空間を模索し事業所内のレイアウトや玄関外観周りの清掃を徹底していく。 ・視覚、嗅覚、聴覚等、味覚、触覚の5感に訴える環境を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用して下さる方が居心地の良い空間になるよう事業所内外の清掃や季節の植物を飾るなど工夫した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実際立ち入った事がないため、わからないとしたが、自己評価を見た限り、感染症対策で家族、地域の方が入りやすい工夫という観点だと実現できていない部分もあると思われる。少しずつ地域との関わりを増やしていければと思う。 ・自然に備わり、良い環境にできていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者その家族だけでなく、感染症対策を継続しながら、地域の方にも認知してもらえる事業所の情報発信の在り方を模索していく。 ・引き続き、利用して下さる方の居心地の良い空間を目指し、職員一丸となって環境整備に努めていく。
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用等の感染対策を継続しながら、地域行事への参加を進めていく。 ・地域包括支援センターとの関りを強化し地域密着型事業所として地域に根差した支援やインフォーマルサービスを活用した見守りを活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で新型コロナウイルス感染症の発生があった事、近隣でも多数感染報告があったため、地域行事への参加は困難であった。 ・地域包括支援センターと連携し、個別にはインフォーマルサービスの活用、地域の民生委員との情報共有は行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括支援センター、民生委員と情報共有を行い、利用者と地域・事業所との連携という課題の実現に向け取り組まれている様子が伺えた。ただ、家族、地域の人との関わりについてはもう少し強化した方がよいと感じた。 ・感染対策も大事なので、仕方ない事もあると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き感染症対策をとりながら、地域行事への参加、地域の人との関わり方の在り方を模索していく。 ・地域包括支援センターや行政、民生委員をはじめとする地域住民との情報共有を図りながら連携していく。
<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の家族との交流を積極的に行い、行事の参加や外出支援に繋げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をしながら、なじみの理容店への外出支援、職員が同行し地域の小売店での買い物支援は行えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事等への関りは運営推進会議での報告を聞く限り、感染症対策でなかなか実現されていないと思われるため、来年度はもう少し検討しても良いのではと感じた。 ・本人や家族の思いもそれぞれなので、大変難しく、その中で支援できる取り組みを考えているように思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策をとりながら、行える地域での活動の支援の方法を模索し実現可能な支援を積み重ねて地域での生活を継続できるように支援していく。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症が5類へ引き下げられる事から、状況を考慮しつつ集合会議、対面会議を開催していきたい。文書会議を織り交ぜながら引き続き委員との情報交流を行って行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回目の運営推進会議のみ書面開催であったが、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行した後は集合会議が実現でき、事業所職員と委員が対面での意見交換ができ、情報共有が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異業種からの別の視点からの意見などは今後の運営には大変貴重だと思う。今後もこのような取り組みは必要だと思う。 ・年度を通し集合会議を開催し、地域の方の意見、事業所の取り組みについて把握できたので良かった。 ・事業所の説明はわかりやすく、内容や意見を出して改善に活用できているように思う。 ・難しい問題も多いが、情報収集し、対応策を検討して支援していく事が大切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き感染症対策をとりながら、定期的に運営推進会議の集合開催を通じ、有意義な意見交換、情報共有に努めたい。
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回の訓練様子や業務継続計画（BCP）について、運営推進会議の場で報告を行う。 ・定期的な机上訓練、備蓄品の確認等の意見交換、非常食の試食等も行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同一敷地内にある特養やグループホームとの合同の避難訓練を実施し、近隣住民も参加し協力体制は確認できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議にて報告を受けたが、定期的に机上訓練が行われているが、実際の訓練で見えてきた課題などもう少し具体的な報告があればと感じた。 ・今の時代何が起きても、業務継続計画ができていれば安心だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、訓練の様子や取り組み内容については運営推進会議などで情報発信していく。 ・状況に応じ、業務継続計画の内容を見直し、備蓄品や非常食の点検を定期的に行い、有事に備えていく。

